

多高通信

第135号 平成28年10月26日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

白熱 体育祭！

10月7日、さわやかな秋晴れのもと、体育祭が行われました。開会式では2020年の東京オリンピックの前哨戦であることを宣言するユニークな選手宣誓もあり、競技開始前から熱戦の様相を見せました。前日まで台風の影響が心配されましたが、体育祭にふさわしい天気恵まれ、縦割りでの対抗戦でリレーや玉入れなど、さまざまな競技で盛り上がりました！

■体育祭実行委員長

3年1組 鈴木莉佳子(田子中出身)



長縄跳び。セーのっ！

障害物競走で粉の中から飴玉を探しました。



今年の体育祭では台風の影響もなく、素晴らしい天気で行うことができました。昨年の反省を活かし、より良い体育祭にするために企画や準備に力を入れてきました。また、当日も、実行委員会を中心に、先生方の助けもあり、スムーズに進行することができました。そのおかげで皆の楽しむ姿を多く見ることができました。これは、実行委員会をはじめ、有志で運営を手伝ってくれた陸上部、野球部、サッカー部の生徒の皆さんの協力があったことと感謝しています。体育祭実行委員会を3年間続けてきて、最後に委員長として締めくくることができ、高校生活最後の行事を最高の思い出にすることができました。



学年リレー、5色綱引きの様子



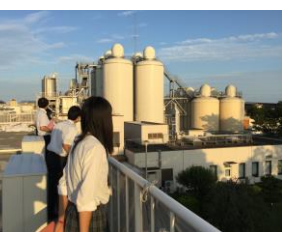
津波波高聞き取り調査

in キリンビール仙台工場

9月7日、キリンビール仙台工場へ震災時の様子を聞き取りに伺いました。本校が学校周辺の波高を調査し、波高プレートを表示する活動の一環として行ったもので、キリンビールさんとの情報交換も行うことができました。有意義な会になりました。

■2年4組 高橋里奈(中野中出身)

キリンビール仙台工場の聞き取り調査では、震災当時の工場の様子や、復旧作業や復興に向けての取り組みなどを聞くことができました。ここでは、震災以降、定期的に住民の方と一緒に避難訓練を行っているそうです。また、私たちが行っている防災活動に対しては「高校生が自主的にこのような活動を行っていることは素晴らしい」との言葉をいただきました。これからも地域の方々と連携してこのような活動が続けていきたいです。



工場敷地内の見学

外務省「高校講座」

9月8日、本校1、2年生を対象として、外務省職員による「高校講座」を行いました。外務省大臣官房文化交流・海外広報課の河野美奈子さんを講師にお迎えし「外務省職員という選択及び文化外交について」というテーマで、外務省入省時代のこと、留学のこと、現在関わっている文化交流のことなどをお話していただきました。

■生徒の感想

〇私は語学について興味があるので今回の講演はとても勉強になりました。河野さんの話の中でフランスに留学する話がありましたが、自分の好きなことにひたすらチャレンジすることはとてもすごいと思いました。また、現地のコミュニケーションの上手な取り方などを知ることができました。自分も一度海外に行ってみたいと思っていますので、自分の可能性を十分に引き出し、自分が本当にやりたいことを見つけれられるように積極的に自分から取り組んでいきたいと思っています。(2年女子)



〇私の知っている外務省の仕事は総理大臣の外国訪問や大使館の職員ぐらいでした。しかし、国内の情報を

外国に発信したり、逆に外国の情報を国内に発信したりするという仕事など、実に幅広い仕事をしているということを知りました。(1年男子)

〇今回、自分達が今まで知らなかった外交に関する裏側を聞くことができました。自分は塩竈に住んでいるのですが、講演の中で塩竈の力が世界の人々に対する震災復興の発信の一部になっていたことにも驚きました。また、通訳の大変さや仕事の内容まで細かく話していただき勉強になりました。(1年男子)

語学研究部

多賀城市国際交流協会

ワークショップ

交流協会の方からの質問にも堂々と受け答えしていました。



9月11日、多賀城市体育館にて、多賀城市国際交流協会が主催する「青年交流」に、語学研究部1年生の3名が参加しました。昨年度に引き続きの参加でしたが、今年度は、この夏に実施されたドイツスポーツ少年団との交流事業の報告と、文化祭で行ったドイツについての研究の発表、そして、昨年度から取り組んでいるフェアトレードについての研究成果の発表という内容でした。

また、後半は、「フェアプレイ」についてのワークショップが行われました。これは、ドイツ団が来たときに本校生とドイツの高校生が話し合った話題でもあり、スポーツにおけるフェアプレイだけでなく、日本で暮らす外国人を日本人が受け入れる場面で「フェア」であるということはどういうことかについて話し合いました。

学習したことを地域社会に向けて発表したり、同じ話題について大人と意見を交わす機会に、生徒たちは刺激を受けた様子でした。

地理特別授業

冒険家・関口裕樹さん

9月17日、3年生の地理B特別授業として、冒険家として活躍している関口裕樹さんにお話ししていただきました。関口さんは高校卒業後に冒険家

になることを決意し、徒歩で日本を一周し、その後は自転車でのオーストラリア一周、冬季のアラスカ、カナダを徒歩で縦断するなど、さまざまな冒険に挑戦してきました。

さまざまな国や地域での人との出会いや、北米のイヌイットの生活や文化について教えていただいたり、関口さんの冒険家としての生き方についてお話ししていただき、これからの自分の生き方についても考えながら熱心にお話を聞いていました。



職員研修「LINE講習会」

9月23日、教職員を対象とした「LINE講習会」が行われました。最近のいわゆる「いじめ問題」は、LINEなどのSNSによる中傷誹謗、外し(仲間はずれ)、画像掲載などにその内容が変わりつつあります。生徒をいじめ問題から守るためにも、SNSに関する最新の知識を得ようと教員も研修に励みました。今回はLINEオフィシャルインストラクターの柴田保文氏に来ていただき、貴重なお話を伺いました。最近の携帯電話の置かれている現状や、LINEを使用する人のコミュニケーション能力不足が様々なトラブルを引き起こす実態などについて教えていただきました。また、LINEを使用する上で「されたらイヤなこと」を、カードを使って順位付けするワークショップも行われ、それぞれの「価値観の違い」が誤解を生み出す原因になることが分かりました。



情報化社会と呼ばれて久しい日本ですが、様々な「いじめ問題」に対応できるよう、我々も日々精進しています。皆さんも、良識あるSNSの使用を心がけましょう。

ご参加ありがとうございました！

災害科学科説明会

10月1日、多賀城高校にて災害科学科説明会を実施しました。当日は59名の中学生と26名の保護者の方に参加していただきました。視聴覚室で行われた全体説明会では、校長からの挨拶、災害科学科の力リキウムや学習内容、入試などについての説明の後、災害科学科1年生4名による「普段の授業について」「浦戸実習と探査船ちきゅう見学について」「つくば実習について」「部活動等の学校生活について」の4点の説明・発表を行いました。生徒は自分のスマホを片手に、用意して来たスライドを無線LANで画面に映し出しながらプレゼンテーションを行いました。

全体説明会後の体験授業では、27名の中学生と10名の保護者の方が、実際に開講している「くらしと安全A」「社会と災害」の授業を模擬体験しました。どちらの授業でも、災害科学科での学びに興味を持てたという声が聞かれました。



くらしと安全A・授業体験



災害科学科の生徒による発表

夢ナビに参加しました！

10月1日、夢メッセみやぎで行われた、「夢ナビライブ2016」(FROM DASH主催、文部科学省後援)に1・2年生全員が参加しました。このイベントは、高校生のための大学研究と学問発見を目的とした大規模な合同進学ガイダンスで、仙台会場は今年で3回目です。全国の80大学が参加し、大学教授による30分の「講義ライブ」、各大学の入試担当者による「大学個別説明ブース」、20の学問系統からなる「まなびステーション」等が実施されました。

■生徒の感想
様々な大学の講義、説明を聞いて、大学でたくさん勉強したいという意欲が湧きました。また、会場には多

くの高校生が来ており、この人たちと受験でライバルとして戦わなければならないという気持ちになりました。3年間で自分のレベルを上げられるように努力したいです。(1年男子)

今回受けた講義の中には、今まで興味を持っていなかった分野のものもありましたが、世の中には多くの職業や研究課題があることを知り、大変勉強になりました。私が今考えている職業にとらわれず、様々な視点から将来のことを考えたいと思いました。(1年女子)

わずか30分という時間でしたが、建築分野について学びたいという気持ちが強くなりました。建築学についても研究する内容は学科によって大きく異なることを知ることができたのは大きな収穫でした。実際に大学の先生に話を聞くことは大切なことだと改めて思いました。(2年女子)

塩釜魚市場どっと祭り

ボランティア

10月2日、「塩釜魚市場どっと祭り」に生徒10名がボランティアとして参加しました。この時期は「三陸塩竈ひがしもの」と呼ばれるブランドメバチマグロが水揚げされます。このマグロ解体ショーなどの催しが、魚市場と仲卸市場で行われました。参加生徒は、「サンタラ汁」「仲卸力二汁」の販売、スタンプラリーの景品引換所の運営、そしてマグロ解体ショーの参加受付などのお手伝いをしました。この催しは震災以降、地域復興のために年々大きくなっています。来年度には新魚市場への建て替えが行われますが、私たちができる地域貢献を引き続き行っていきたいと思っています。



みやぎ総文2017 ボランティア部門プレゼン大会

「ボランティアの種で笑顔の花を」

10月15日、東北歴史博物館で開かれた大会に参

加しました。この大会は来年8月に開かれる第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)に向けての準備行事です。ボランティアに取り組み県内の高校から、多くの生徒が参加しました。各学校でどのようなボランティア活動を行っているのか理解することができ、今後の活動の参考になりました。

本校からは、これまで取り組んできたボランティア活動をポスター発表しました。多くの生徒が自主的に、あるいは部活動単位でボランティア活動に幅広く参加している仕組みについて質問などを受けました。また、口頭発表では来年度本校が主体となって実施するフィールドワーク



本校生によるポスター発表



全体会の様子

についての報告を行いました。これまで行ってきた「まちあるき」と「ワークシヨップ」を組み合わせた内容を全国からの参加者に提供する予定となっています。

来年度の本大会に向け、フィールドワークを中心に、全国の高校生へ私たちの活動を伝え、一緒に防災・減災や復興を考え、みやぎの魅力を伝えていけるよう準備を進めていきます。

祝 軽音楽部

新人大会グランプリ＆

全国総合文化祭出場決定！

10月16日、大崎市民会館で第13回高等学校対抗バンド合戦新人大会 兼 第41回全国総合文化祭(みやぎ総文2017)軽音楽部門プレゼン大会が行われ、本校軽音楽部を代表して出場した2年生バンド Siderte(シダライト)がグランプリを受賞しました。これにより、来年度宮城県で行われる本大会の軽音楽部門において、宮城県代表として出場すること

になりました。おめでとう！

■2年4組 齋藤春甫

(岩切中出身)

今回の大会は、昨年度出場した1年生大会でグランプリを逃した悔しさをバネに頑張ってきました。また今回は、オリジナル曲での出場ということもあり、前回の大会とはまた違った難しさがありました。1年越しの努力が実り、グランプリという素晴らしい賞を受賞できましたが、これは僕たちの頑張りだけでなく周りの皆さんの御協力もあってのことだと思っています。本当にありがとうございました。

今回の結果に満足することなく、これからもより一層練習に力を入れ、来年出場することになる全国大会では、「Siderte」というバンド名の由来通り、多くの方に衝撃を与えられるよう頑張っていきたいです。これらの Siderte、そして多高軽音楽部の活躍にご期待ください！

祝 山岳部 新人大会優勝！

10月7日から9日の3日間、山岳部の新人大会が山形神室で行われ、本校山岳部が6月の県総体に続き2連覇を果たしました。おめでとう！

■副部長 2年5組 宮口大知(岩切中出身)

今大会で私たちは先輩たちに続き、優勝という結果を残すことができました。しかし、今大会の審査委員長の講評は決して良いものではなく、大会を通して反省すべき点をいくつも見つけることができました。普段の練習・活動で弱点をしっかりと見つめ、改善できるように努力していきたいです。

